

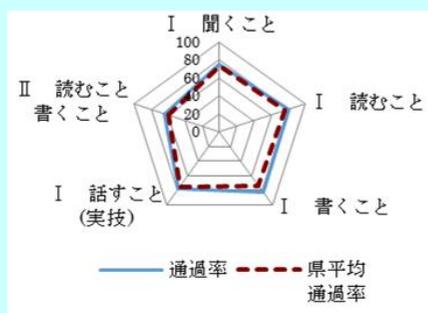
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.6 %, 県 72.4 %)

対県比

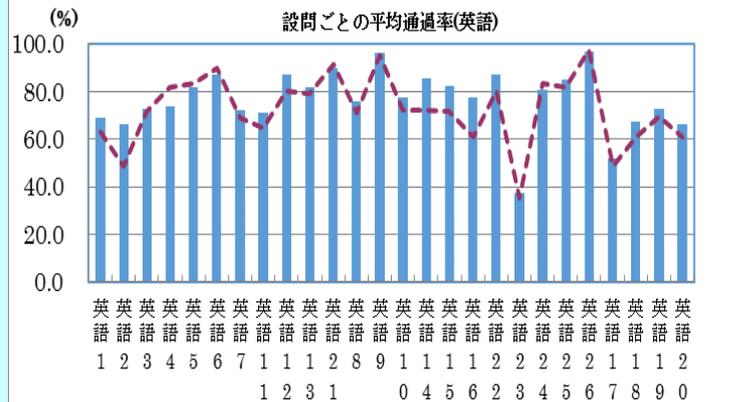
105.8 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について  
 英語の結果において、タイプⅠは74.7%、タイプⅡは59.4%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、習得した知識・技能を活用する問題を苦手としている生徒が多いと考えられる。

○昨年度の課題への取り組みの成果  
 情報を基に、それに関する質問を考え、英文を書く力や、根拠を持って理由を読み取る力に課題が見られたので、場面を意識しながら、聞きたい内容を正しい疑問文で質問する活動や、内容についての読み取りで根拠となる部分に線を引かせる活動を取り入れた。場面に合った質問を考えることには一定の結果が得られたが、根拠の読み取りに課題が残った。



重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】実技問2 通過率 (37.6%)

現在進行形の形で答えることができていない。誤答としては、He plays baseballが多く、He が三人称単数形であることは定着しているが、質問に be 動詞が含まれていることと聞き取りきれておらず、適切に対応できていない。

【課題2】112 通過率 (52.0%)

根拠を持って、理由を読み取ることができていない。誤答については、部分的には読み取れているものの、細かい部分がきちんと読めていなかったり、答えの日本語が意味の通らないものになっているというつまづきが見られた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (50.0%) 実施後数値 ( %)

授業の始まりにおこなっている Q&A の際に、日付・曜日確認だけではなく、be 動詞や助動詞を含む様々な質問を取り入れる。また、教師からの質問だけでなく、生徒同士で聞き合う活動を取り入れる。

【課題2】目標値 (60.0%) 実施後数値 ( %)

読む活動において、内容が理解できているかどうかだけでなく、「なぜそうなのか」、「どの表現からそう読み取れるのか」を考えるなど、単語や表現に注目させる指導を継続して行う。例えば内容についての読み取りで、根拠となる部分に線を引かせるだけではなく、ペアで交流するなどの活動や、聞き取りの活動においても、原稿を示しながらどこに答えの根拠があるかを見つけさせる活動を行う。

※今後の改善計画については別紙